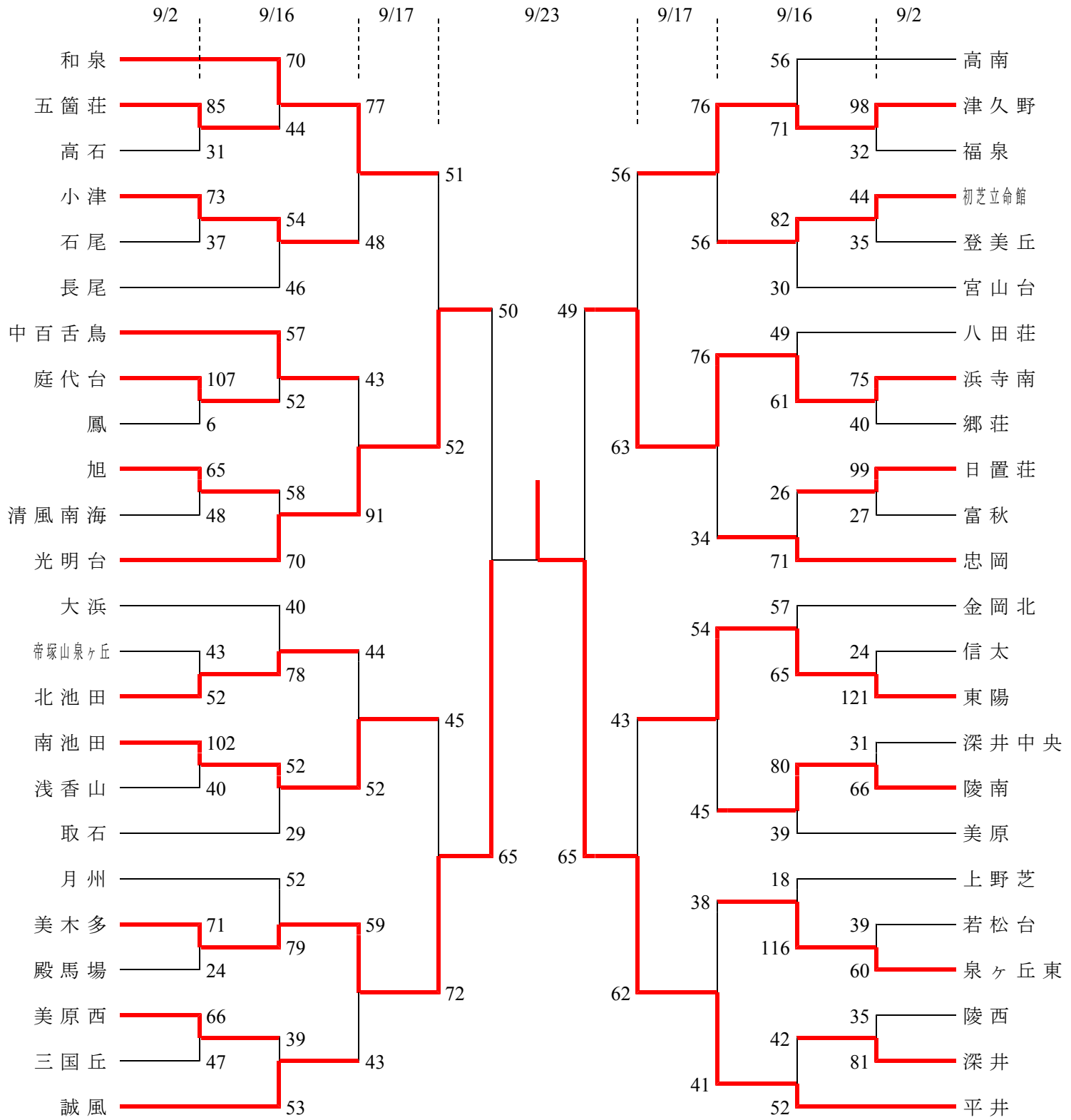


2012年度泉北地区秋季大会

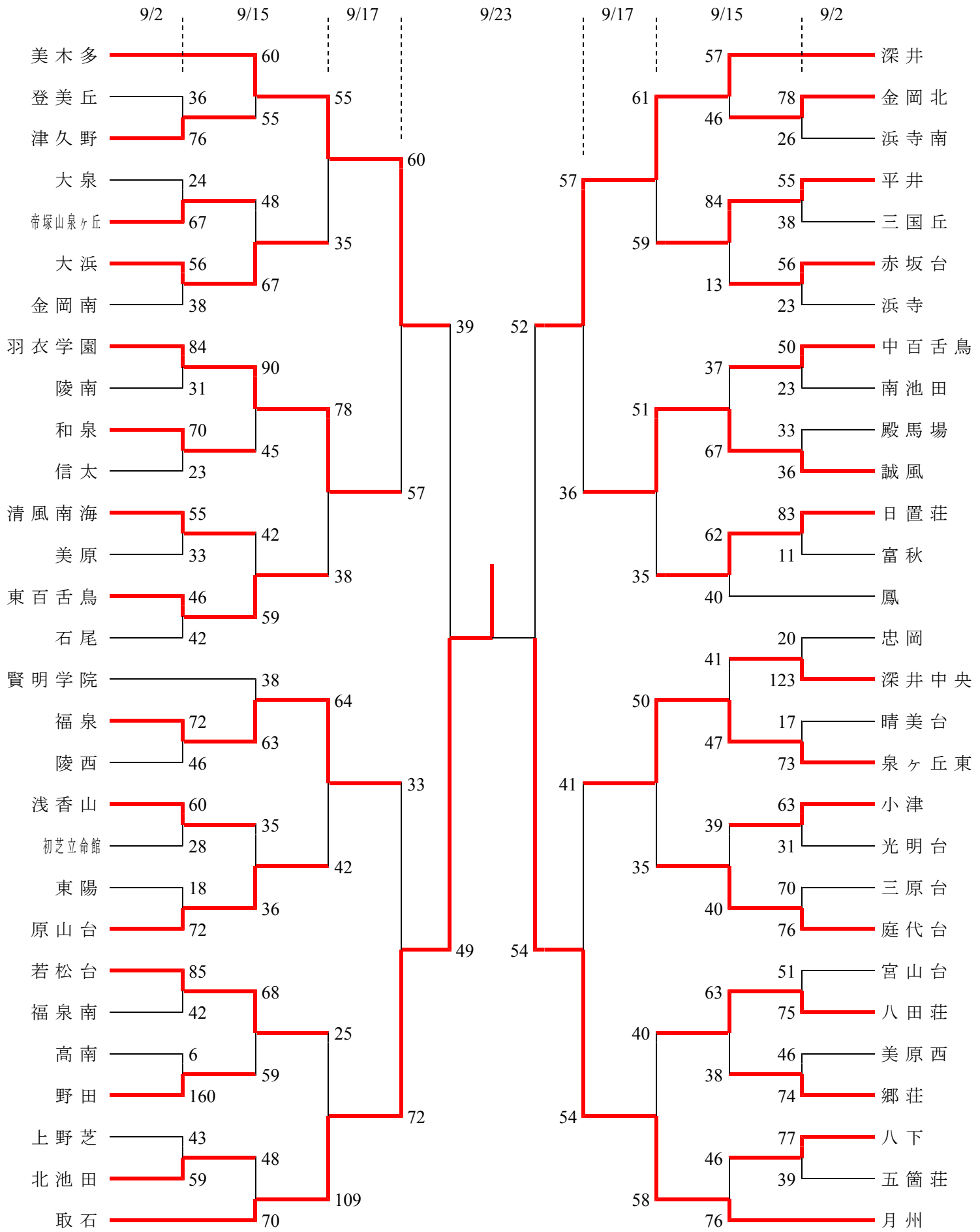
男子の部



決勝
 美木多 4 4 - 7 8 平井
 13 10 15
 6 20 15
 8 30 24
 17 40 24

3位決定戦
 光明台 7 4 - 5 7 浜寺南

女子の部



決勝

取石	5	7	-	3	7	月州
	6	1Q		13		
	14	2Q		10		
	20	3Q		2		
	17	4Q		12		

3位決定戦

美木多	6	1	-	4	7	深井
-----	---	---	---	---	---	----

男子決勝戦評 美木多 44-78 平井

美木多④⑤⑥⑦⑧でハーフマンツーマン、平井④⑤⑥⑦⑩でオールコートマンツーマン。平井が⑤のゴール下で先制する。対する美木多は⑦のドライブ、⑤の速攻で逆転し、互角の展開で推移する。その後、平井が⑤が力強くゴール下を攻め続け、リードを広げる。美木多も⑧の3P、⑤⑦の1対1で食らいつき、13-15で第1Q終了。第2Qに入り、ゴール下を固める平井に対し、美木多のドライブが決まらない。その間に平井⑤⑥⑦がインサイドを強く攻め、リードを広げていく。美木多は早いパス回しから3Pを狙うが、思うように決まらず19-30で前半を終える。後半になると、美木多は⑥の1対1を攻めの中心に据え、流れを変えにかかると。しかし、平井④がディフェンスをがんばり、追い上げを許さない。平井は⑤がゴール下を圧倒し、第3Qだけで18得点を活躍をみせる。美木多もディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、追い上げを図るものの、平井の勢い止めることができず、リードが広がっていく。最後まで攻めをゆるめなかった平井が優勝を飾った。大阪府総体で夏の悔しさをはらす闘いを期待したい。

(福嶋)

女子決勝戦評 取石 57-37 月州

取石④⑦⑫⑬⑭で2-1-1-1からマンツーマンプレス、月州④⑥⑦⑧⑨でオールコートマンツーマン。立ち上がり取石はバイオレーションを連発してしまい、気持ちよくスタートがきれない。対する月州は⑥のジャンプシュート、④の3Pで幸先の良いスタートをきる。月州はディフェンスでもがんばりを見せ、取石のドライブを簡単に許さない。取石はインサイドアウツやドライブを仕掛け、オフェンスリバウンドでも粘りを見せるが、なかなか得点に結びつかない。月州が自分たちのリズムを崩さずにプレーし、④⑥⑧を中心に得点を重ね、13-6の7点リードで1Qが終了した。第2Qは取石は⑭のジャンプシュート、月州は⑧のゴール下でスタート。互いに流れを渡さず、点差は縮まらない。しかし、取石がゴールへの積極的なアタックを見せ、月州をファウルトラブルに追い込め、流れをつかみ始めた。取石がディフェンスでも強さを見せ始め、パスミス誘い、そこから速攻につなげていく。月州はたまたまファウルを犯してしまう。取石が着実にフリースローで点差をじわじわ縮めていく。月州はオフェンスでうまく崩すことができず、悪い流れのまま前半を終える。取石は前半からの良い流れを後半の立ち上がりにつなげていく。粘り強いディフェンスや速攻から④のターゲットシュート、⑭のジャンプシュートや3Pなどで得点を重ね、開始3分で11-0とスタートダッシュに成功する。月州はたまたまタイムアウトを取り、状況の打開を図るものの、取石のディフェンスを崩すことができない。激しいディフェンスから取石が第3Q20-2と一気に点差を広げ、40-25と大きく引き離す。第4Qでは月州④のジャンプシュートなどで反撃を試みるものの、取石④がゴール下でがんばりを見せ、点差をつめさせない。終始粘り強いディフェンスから積極的にゴールにアタックし続けた取石が57-37で優勝を決めた。取石、月州、美木多の3校には泉北地区の代表として、大阪府総体でもより一層の健闘を期待したい。

(福渡)